





自蕙翁終於我滬華  
此地好儂者比侘邦  
尤為多者江戶人既  
呂五百題者向集而  
源華島無間花臺  
宗正源慨之始輯源  
華五百題者向六宗  
匪近下者于翁於焉震  
而續芳躅者以此集



可謂善悉于器而為  
此如好能者獎揚風  
雅也余聞越之目奔  
數云

嘉有在矣  
後百

九山在七



正月之部

歲旦丁初

元日 立春 初春 初陽

初明 初空 今朝春花の光 初日 年の始

初玉 初霞 初鳥 初夢

初水 井開 初手水 初降 惠方

門飾 注連飾 門松 初の内

飾介 信象 勝花 勝海老 菫菜

掛鯛 鏡餅 大箸 雜煮 大福

屠蘇 菫菜 喰積 蓬菜 數の子

福肴 初鳥 茶室 鳥追

初曳 破弓 手鞠 羽子板 着羽子

馬籠初 弓始 藏開 船業初

福初 筆始 福引 初賣 水祝

三ノ日 乾坤卦 蟄月 初菑居 初子日

人日 往違内 瘳入 網川 左身也

卯月 店風 佛佛脚 除毒 消々々

凍解 氷解 氷の雪 氷雪 名残雪

雪間 雪解 霞 種霞 長閑

黍 毛遊 陽春 暖 氷の玉

永日 遷之日 佐保姫 赤色 山火

未定 雨 植物卦 小松曳 七種

齊 佛の星 於代 并 茶葉

菊の葉 下花 古筆 菊の葉 茶所

木の芽 梅 桜の花 名はく 畑方 生類卦

柳 椿 山葵 獨活

梅の葉 白菓 百子鳥 鶯 うそ

雲雀 助鳥 水鳥時 鳥轉 蛭

蛤 食類卦 海苔 神叙卦 葷菜

各邦 考々一 御忌

二月之部

乾坤卦 如月 二日矣 概月 初雷

出代 社日 巾 植物卦 初花

初櫻 紅梅 梅木 枸杞 五加木

苗代 種蒔 種却 菜花 芹杖

蕨 蒲葉 持羊 芽花 菜苗

産の角 萱湯 燒野 山鏡 生類卦

燕 稚子 帰乃 雀子 引鴉

川鶴 鳥の巢 蛙 田螺 馬刀

落角 及為 蝮 蝶 神叙卦

初午 薪能 涅槃多 彼岸

三月之部

乾坤卦 弥生 雛 沙干 曲水

引霜 初如 心香 夏近キ 夏柳

行水 香菱 三月至 植物評 桃

櫻 蓮櫻 花 海棠 薔花

木花 辛夷 連翹 茶橘

藤 山吹 薔 豆 生類評

鷓合 啄子鳥 烏雲文 若帖 櫻網

蟹 食類評 叩齋 刺菜 神教評

土守念佛 人丸忌 口影佛 若雜

四月之部

乾坤評 卯月 短夜 大矢敷 懈

汗 汗拭 扇 團扇 日傘

植物評 牡丹 芍藥 杜若 薔花

麥 一八 麥結 小麦 若菜

若風 新樹 紫柳 木下周 葉梅

梅の葉 卯花 桐の花 若菜 花柳

薔 羊 梅子 夏草豆 生類評

若菜 薔 行子 勿吉 錦路

卯花 紅魚 若 恒年 蠅

敬 敬柱 登 子不 水馬

青鷺 若 鷹 鶉 肉食評

更尤 初宿 新菜 紫麥 汽水

能 神教評 魚系 紫菜 夏花

灌仏 若見考 夏古

五月之部

乾坤評 卯月 菜日 儼 草月夜

入梅 梅雨時 五月雨 植物評 蔓草青

四植 早乙女 早苗 薄草 萍

薔 薔 薔花 紫陽花 百合

薔花 薔子 合歡草 紫薔 櫻

若柳 若柳 瓜 茄子

若介 若植 生類評 蟬 浮巢

水雞 茄子 牛車 鮭魚腕 衣食下  
糠 糠子 糠子の 神教下 鏡馬

六月之部

**乾坤下** 水骨 暑 空天 風意

涼下 納涼 夏月 青東風 冬風

夏の巻 夕立 泉 清水 土用干

夏下 赤巻 葦 舟帰人 夏渡

秋下 秋下 **植物下** 氷室橋 蓮

夕顔 昏顔 麻 青田 田作水

真茶下 生類下 秋下 大虫 海貝

**鳥類下** 鳥水 心太 沖能 **神教下**

御會 豆枝 梨代 芽齋 雜

浪華之百題集上卷

花屋庵鼻丸輯

果出下部

之日 之夕の初より早は夕より寸 鼻左

之夕の初風より夕の初より寸 仁實

之夕の初風より夕の初より寸 月桂

之夕の初風より夕の初より寸 松蔭

之夕の初風より夕の初より寸 楓

之夕の初風より夕の初より寸 曲切

之夕の初風より夕の初より寸 寺院

之夕の初風より夕の初より寸 花院

之夕の初風より夕の初より寸 草

之夕の初風より夕の初より寸 草

之夕の初風より夕の初より寸 草

之夕の初風より夕の初より寸 草

上

五巻

向ふがけの山をみる川を流る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

惟草

井村

大野

曲淵

光林

泉左

一柳

徳洋

志保

杉橋

九和

石外

善功

月下

彦平

喜地

月土

一池

善前

鼎三

光林

澄月

一葉

善涼

梅室

善池

不求

一池

柳三

井村

自來

耕喜

初明

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

初景

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

初景

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水

舟をりて流るる川に雲を渡る水





初日 初日

羊羹

ものまき

雅志

おまき

曲調

おまき

和歌

おまき

喜比

おまき

孝院

三日の夜

おまき

風所

初日

おまき

鼎左

おまき

龍淵子

おまき

梅價

おまき

宇歌

おまき

松眉

おまき

枝月

おまき

双鳥

おまき

初松

おまき

融洋

おまき

新松

おまき

小山

おまき

蘭標

おまき

葦一

おまき

初月

おまき

由禁

おまき

節太

おまき

月太

おまき

茶居

おまき

由禁

おまき

染人

おまき

松眉

おまき

易友

おまき

末郎

おまき

左栗

おまき

初月

清慶

おまき

おまき

左栗

おまき

初月

年神やわらわしつ三井の若法師 見外  
 お世にてはさきまあや高の子 月崎  
 去後の又あつてはさきまあ 壺田  
 つし神のまはるをたはさきま 梅垣  
 せんかたあふ女の侍さきま 卦新  
 海さきまはさきまのあつてはさきま 海邊  
 海さきまはさきまのあつてはさきま 景輝  
 神さきまのあつてはさきまのあつてはさきま 悠平  
 ねのあつてはさきまのあつてはさきま 志龍  
 せんかたあふ若法師のあつてはさきま 五中  
 せんかたあふ若法師のあつてはさきま 光林  
 のあつてはさきまのあつてはさきま 一喜  
 さきまのあつてはさきまのあつてはさきま 末白  
 さきまのあつてはさきまのあつてはさきま 素山  
 向勝子とれあつてはさきまのあつてはさきま 次悃  
 のあつてはさきまのあつてはさきまのあつてはさきま 茶山

初馬

初馬

雲がく山がきくせんかたあ 鵜野  
 せんかたあ若法師のあつてはさきま 九龍  
 せんかたあ若法師のあつてはさきま 菅原  
 せんかたあ若法師のあつてはさきま 佐田  
 さきまのあつてはさきまのあつてはさきま 西馬  
 さきまのあつてはさきまのあつてはさきま 雨那  
 さきまのあつてはさきまのあつてはさきま 素山  
 さきまのあつてはさきまのあつてはさきま 梅垣  
 さきまのあつてはさきまのあつてはさきま 菅原  
 さきまのあつてはさきまのあつてはさきま 悠平  
 さきまのあつてはさきまのあつてはさきま 志龍  
 さきまのあつてはさきまのあつてはさきま 五中  
 さきまのあつてはさきまのあつてはさきま 光林  
 さきまのあつてはさきまのあつてはさきま 一喜  
 さきまのあつてはさきまのあつてはさきま 末白  
 さきまのあつてはさきまのあつてはさきま 素山  
 さきまのあつてはさきまのあつてはさきま 次悃  
 さきまのあつてはさきまのあつてはさきまのあつてはさきま 茶山

整備子一冊すわ和り寸  
心可  
女和  
和集  
柳竹  
光林  
楓  
松竹  
孝曜  
五月  
羊口  
月人  
是耕  
九龍  
言

蘇積  
心  
あき

和善

いねつし  
得嘉  
編  
性  
一  
秋唯  
格雄  
為山  
鼎左  
得嘉  
波同  
為風  
柳村  
一路  
琴前  
染人





志すべし生るる小居居のあゆみ 月夜  
 河のちりあふくくくくくくくくく 春  
 一頼りみくくくくくくくくくく 夏  
 くくくくくくくくくくくくくく 秋  
 菊のちりあふくくくくくくくく 冬  
 志すべし生るる小居居のあゆみ 春  
 河のちりあふくくくくくくくく 夏  
 一頼りみくくくくくくくくくく 秋  
 くくくくくくくくくくくくくく 冬  
 菊のちりあふくくくくくくくく 春  
 志すべし生るる小居居のあゆみ 夏  
 河のちりあふくくくくくくくく 秋  
 一頼りみくくくくくくくくくく 冬  
 くくくくくくくくくくくくくく 春  
 菊のちりあふくくくくくくくく 夏  
 志すべし生るる小居居のあゆみ 秋  
 河のちりあふくくくくくくくく 冬  
 一頼りみくくくくくくくくくく 春  
 くくくくくくくくくくくくくく 夏  
 菊のちりあふくくくくくくくく 秋  
 志すべし生るる小居居のあゆみ 冬  
 河のちりあふくくくくくくくく 春  
 一頼りみくくくくくくくくくく 夏  
 くくくくくくくくくくくくくく 秋  
 菊のちりあふくくくくくくくく 冬

蓮葉の影のあはれは 麦雨  
 蓮葉の影のあはれは 除力  
 蓮葉の影のあはれは 春月  
 蓮葉の影のあはれは 暮光  
 蓮葉の影のあはれは 杜鵑  
 蓮葉の影のあはれは 翠一  
 蓮葉の影のあはれは 瓦村  
 蓮葉の影のあはれは 太乙  
 蓮葉の影のあはれは 鼎左  
 蓮葉の影のあはれは 柳空  
 蓮葉の影のあはれは 芥山  
 蓮葉の影のあはれは 休閑  
 蓮葉の影のあはれは 葉秀  
 蓮葉の影のあはれは 柳月  
 蓮葉の影のあはれは 三好  
 蓮葉の影のあはれは 一〇

雲々のそとをよみしる 福壽也 雨に  
 福壽ふれのくぐりて 休登  
 晴きしむらつあつ 福壽也 婦生  
 朝霞さうけつとて 福壽也 蘭様  
 一りて雲も移るに 福壽也 蕙仙  
 福壽也 福子に 旭うけ 物人  
 夕紅はむらぐら 福壽也 耕事  
 夕紅はむらぐら 福壽也 相坡  
 人致之をむきうけ 福壽也 ら嘆  
 つねのそふきけ 福壽也 若月  
 人も好まふ時より 福壽也 虚白  
 中つたのそつちたり 福壽也 杜宇  
 おくひらち 福壽也 鼎居  
 秋のそふら 福壽也 吟言  
 吟言のそふら 福壽也 声心  
 三任ふれ 福壽也 花月

魚也

魚也のそふら 福壽也 又景  
 魚也のそふら 福壽也 鼎左  
 魚也のそふら 福壽也 相坡  
 魚也のそふら 福壽也 月人  
 魚也のそふら 福壽也 鼎居  
 魚也のそふら 福壽也 雲介  
 魚也のそふら 福壽也 若月  
 魚也のそふら 福壽也 久夜  
 魚也のそふら 福壽也 物生  
 魚也のそふら 福壽也 月心  
 魚也のそふら 福壽也 相坡  
 魚也のそふら 福壽也 井井女  
 魚也のそふら 福壽也 僧事  
 魚也のそふら 福壽也 寺院  
 魚也のそふら 福壽也 花月

魚也

魚也のそふら 福壽也 鼎居  
 魚也のそふら 福壽也 相坡  
 魚也のそふら 福壽也 月人  
 魚也のそふら 福壽也 鼎居  
 魚也のそふら 福壽也 雲介  
 魚也のそふら 福壽也 若月  
 魚也のそふら 福壽也 久夜  
 魚也のそふら 福壽也 物生  
 魚也のそふら 福壽也 月心  
 魚也のそふら 福壽也 相坡  
 魚也のそふら 福壽也 井井女  
 魚也のそふら 福壽也 僧事  
 魚也のそふら 福壽也 寺院  
 魚也のそふら 福壽也 花月





羽子板  
多刺子

味平の〜  
 卯角  
 北石  
 羽集  
 二の丸  
 此の  
 鳥南  
 林亭  
 杜若  
 鼎友  
 う兼  
 喉石  
 九志  
 新吉  
 休良

馬鹿

弓始

持子  
 善寛  
 善知  
 楚宮  
 杜若  
 桃雨  
 七良  
 鼎友  
 徳海  
 為風  
 左吹  
 是城  
 西馬

福引

福引ある一の字のなり 國中

新喜 新喜の字に幸やあしと云 甚淵

と新喜とあつては新喜の字なり 稲香

新喜の字なり 新喜の字なり 若月

水記 新喜の字なり 水記の字なり 喜而

新喜の字なり 新喜の字なり 喜而

今日 新喜の字なり 新喜の字なり 喜而

新喜の字なり 新喜の字なり 喜而

新喜の字なり 新喜の字なり 喜而

新喜の字なり 新喜の字なり 喜而

新喜の字なり 新喜の字なり 喜而

乾坤一部

昨日 新喜の字なり 新喜の字なり 喜而

新喜の字なり 新喜の字なり 喜而

新喜の字なり 新喜の字なり 喜而

新喜の字なり 新喜の字なり 喜而

新喜の字なり 新喜の字なり 喜而

新喜の字なり 新喜の字なり 喜而

新喜の字なり 新喜の字なり 喜而

新喜の字なり 新喜の字なり 喜而

新喜の字なり 新喜の字なり 喜而

新喜の字なり 新喜の字なり 喜而

新喜の字なり 新喜の字なり 喜而

野山から... 風  
 ぶり... 山外  
 人... 豊古  
 風... 井井女  
 風... 風  
 入... 海宝  
 入... 志  
 入... 龍  
 入... 風龍  
 入... 風  
 入... 海  
 入... 車士  
 入... 隆

細引  
 入... 馬  
 入... 龍  
 入... 泉  
 入... 松  
 入... 目  
 入... 保  
 入... 由  
 入... 良  
 入... 慎  
 入... 風  
 入... 隆

入... 隆

たふちのたふちいよ一考九 月下

月代公現と一海のきんたふ 未明

東のふしつふしつとんたふ 占部

とふつふたふを解つて人のた 月折左

あつとあつたれ考や小正月 舟中

操折と操の成りや小正月 舟中

一考ふもあつたふちを三浦 舟中

あつたふちをふたふちと二浦 舟中

あつたふちを子のまをこつ 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

月

店前

佛供

月形也

隆寒

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

あつたふちをあつたふちと 舟中

河え

河えのまきまきしつづくえん 井竹め  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん ま白  
 大沢もあしつづくあやまきつづくえん 栄人  
 里まきつづくあやまきつづくえん 羊居  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 徳源  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 昇石  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 梅室  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 西馬  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 松竹  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 珠里  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 杜崎  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 光女  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 昇一  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 見物者  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 林唯  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 珠池

神解

出解

河えのまきまきしつづくえん 不二門  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 九和  
 大沢もあしつづくあやまきつづくえん 土塔山  
 里まきつづくあやまきつづくえん 崇秀  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 白崎  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 喜池  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 月人  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 山外  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 光女  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 和集  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 羊居  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 徳源  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 昇石  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 梅室  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 西馬  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 松竹  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 珠里  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 杜崎  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 光女  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 昇一  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 見物者  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 林唯  
 吉らまきしつづくあやまきつづくえん 珠池



物つりし〜御のまゝやわらふ〜 若原  
 つて人の心もよほし〜 崇秀  
 ともふ〜 是耕  
 信之の折〜 直影  
 曾やねつ〜 雅秀  
 シ〜 波日  
 池水は雲の影〜 休閑  
 昔昔〜 山外  
 き〜 不角  
 の〜 一葉  
 是代の人〜 鳥谷  
 中〜 九和  
 雲山〜 秋成  
 舞〜 玉姫  
 ち〜 仙母  
 ち〜 杜崎

長雨  
 長雨は心〜 若原  
 一〜 天明  
 心〜 吉原  
 心〜 丁加  
 暮〜 素庵  
 暮〜 梅室  
 暮〜 暮一  
 暮〜 若原  
 暮〜 若原  
 暮〜 若原  
 暮〜 若原

長雨は心〜 若原  
 一〜 天明  
 心〜 吉原  
 心〜 丁加  
 暮〜 素庵  
 暮〜 梅室  
 暮〜 暮一  
 暮〜 若原  
 暮〜 若原  
 暮〜 若原  
 暮〜 若原

森

ろくろやまの杖の折しきる 芭山  
も雨さや神さきうらふたの丈 蘭秀  
うらふたの神さきうらふたの丈 蘭秀  
森やまの神さきうらふたの丈 蘭秀

糸

糸やまの神さきうらふたの丈 蘭秀  
糸やまの神さきうらふたの丈 蘭秀  
糸やまの神さきうらふたの丈 蘭秀

陽

陽やまの神さきうらふたの丈 蘭秀  
陽やまの神さきうらふたの丈 蘭秀  
陽やまの神さきうらふたの丈 蘭秀

暖

暖やまの神さきうらふたの丈 蘭秀  
暖やまの神さきうらふたの丈 蘭秀  
暖やまの神さきうらふたの丈 蘭秀

水

水やまの神さきうらふたの丈 蘭秀  
水やまの神さきうらふたの丈 蘭秀  
水やまの神さきうらふたの丈 蘭秀

糸

糸やまの神さきうらふたの丈 蘭秀  
糸やまの神さきうらふたの丈 蘭秀  
糸やまの神さきうらふたの丈 蘭秀







昔雨よき酒けらるるに 花月  
 昔雨よき菜のびるやも雨 物土  
 昔雨よきあまのけりも雨 幸定  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 豆山  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 水  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 蟻  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 澤  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉

植物部

昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉

七種

昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉

七種

昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉  
 昔雨よき雨あまのけりも雨 泉

上

下





花ももよほし〜 天木  
花ももよほし〜 恋就  
花ももよほし〜 身地  
花ももよほし〜 卦就  
花ももよほし〜 一記  
花ももよほし〜 舟池  
花ももよほし〜 不意  
花ももよほし〜 幸也  
花ももよほし〜 由葉  
花ももよほし〜 月下  
花ももよほし〜 西雪  
花ももよほし〜 喜貞  
花ももよほし〜 秋首  
花ももよほし〜 梅月  
花ももよほし〜 昂右

香身

梅

花ももよほし〜 梅雪  
花ももよほし〜 昂右  
花ももよほし〜 梅月  
花ももよほし〜 秋首  
花ももよほし〜 喜貞  
花ももよほし〜 西雪  
花ももよほし〜 月下  
花ももよほし〜 由葉  
花ももよほし〜 幸也  
花ももよほし〜 不意  
花ももよほし〜 舟池  
花ももよほし〜 一記  
花ももよほし〜 卦就  
花ももよほし〜 身地  
花ももよほし〜 恋就  
花ももよほし〜 天木  
花ももよほし〜 九就  
花ももよほし〜 石外  
花ももよほし〜 貞外  
花ももよほし〜 子外  
花ももよほし〜 必山  
花ももよほし〜 流是  
花ももよほし〜 念池  
花ももよほし〜 昂右  
花ももよほし〜 一具  
花ももよほし〜 由葉  
花ももよほし〜 昂右

是より加減に身をもつて梅 磯木  
 人をもく来り梅もや梅 花 山外  
 おもひもくもくもくもくもくもく 百古  
 梅子ののりけりもくもくもくもく 映門  
 酒の火をたかふもくもくもくもく 淡叟  
 雪うらやまもくもくもくもくもく 文山  
 梅もくもくもくもくもくもくもく 雨江  
 梅もくもくもくもくもくもくもく 苦居  
 梅もくもくもくもくもくもくもく 淡菴  
 舟もくもくもくもくもくもくもく 不堂  
 梅もくもくもくもくもくもくもく 柏樹  
 月もくもくもくもくもくもくもく 梅夕  
 梅もくもくもくもくもくもくもく 翠一  
 梅もくもくもくもくもくもくもく 丁起  
 人もくもくもくもくもくもくもく 南長  
 月もくもくもくもくもくもくもく 月波

梅もくもくもくもくもくもくもく 魚村  
 梅もくもくもくもくもくもくもく 鼎居  
 梅もくもくもくもくもくもくもく 栗翁  
 梅もくもくもくもくもくもくもく 松眉  
 梅もくもくもくもくもくもくもく 以相  
 梅もくもくもくもくもくもくもく 梅雲  
 梅もくもくもくもくもくもくもく 井竹  
 梅もくもくもくもくもくもくもく 梅吟  
 梅もくもくもくもくもくもくもく 素庵  
 梅もくもくもくもくもくもくもく 杜詒  
 梅もくもくもくもくもくもくもく 西亭  
 梅もくもくもくもくもくもくもく 同来  
 梅もくもくもくもくもくもくもく 楚南  
 梅もくもくもくもくもくもくもく 自來  
 梅もくもくもくもくもくもくもく 文賀  
 梅もくもくもくもくもくもくもく 雪嶺

梅の香も風も月もこの夜あり 左壁  
仲のりて一輪を 藪の梅 不二門  
清き月清き水あり 梅の花 寺境  
何れも清き水あり 月夜の梅 若原  
花の香も風も月もこの夜あり 前由  
枝をこすも枝をこすも 喜地  
月も水もこの梅の花をこす 卦飛  
上り此の梅の花をこす 有丈  
川も水もこの梅の花をこす 村亭  
京中や梅の花をこす 梅堂  
さきも水もこの梅の花をこす 蘭探  
うらなも水もこの梅の花をこす 梅香  
川も水もこの梅の花をこす 一桃  
春月も水もこの梅の花をこす 若女  
何れも水もこの梅の花をこす 悠々  
何れも水もこの梅の花をこす 糸女

梅の花

梅の花も是の一夜もこの夜あり 末松  
梅の花も是の一夜もこの夜あり 慧高  
梅の花も是の一夜もこの夜あり 鼎を  
梅の花も是の一夜もこの夜あり 一池  
梅の花も是の一夜もこの夜あり 買山  
梅の花も是の一夜もこの夜あり 若原  
梅の花も是の一夜もこの夜あり 夜柳  
梅の花も是の一夜もこの夜あり 寺境  
梅の花も是の一夜もこの夜あり 穂津  
梅の花も是の一夜もこの夜あり 月人  
梅の花も是の一夜もこの夜あり 祐唯  
梅の花も是の一夜もこの夜あり 西寺  
梅の花も是の一夜もこの夜あり 秋宮  
梅の花も是の一夜もこの夜あり 長谷  
梅の花も是の一夜もこの夜あり 玉指  
梅の花も是の一夜もこの夜あり 曲洞

梅

上

下







とすれのふらふらに極ぬるる 其宝  
さかすらふらふらに極ぬるる 一雨  
押水の流しやあけずの角 祇唯  
芦の葉のつらみさののりゆら 其葉

下流のつらみさののりゆら 仙波  
水まわらんふらふらに極ぬるる 去子  
持葉のかたむかひのりゆら 貞女

持葉のかたむかひのりゆら 貞女  
一さかすらふらふらに極ぬるる 其葉  
かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉

かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉  
かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉  
かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉

かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉  
かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉  
かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉

かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉  
かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉  
かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉

かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉  
かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉  
かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉

かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉  
かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉  
かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉

かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉  
かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉  
かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉

かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉  
かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉  
かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉

かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉  
かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉  
かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉

かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉  
かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉  
かさかすらふらふらに極ぬるる 其葉

千のしを走らふるを以て揚 山崎  
 巻揚り思ふに 十も思ふは ちり  
 赤のしを走らふるを以て揚 見外  
 赤のしを走らふるを以て揚 松崎  
 赤のしを走らふるを以て揚 岸一  
 赤のしを走らふるを以て揚 島左  
 赤のしを走らふるを以て揚 由美  
 赤のしを走らふるを以て揚 岸君  
 赤のしを走らふるを以て揚 卯角  
 赤のしを走らふるを以て揚 松眉  
 赤のしを走らふるを以て揚 自在  
 赤のしを走らふるを以て揚 風歌  
 赤のしを走らふるを以て揚 悠平  
 赤のしを走らふるを以て揚 小洋  
 赤のしを走らふるを以て揚 若園

白頭

赤のしを走らふるを以て揚 班休  
 赤のしを走らふるを以て揚 一止  
 赤のしを走らふるを以て揚 為心  
 赤のしを走らふるを以て揚 芥庵  
 赤のしを走らふるを以て揚 梅室  
 赤のしを走らふるを以て揚 井井  
 赤のしを走らふるを以て揚 伊魯  
 赤のしを走らふるを以て揚 龍月  
 赤のしを走らふるを以て揚 島左  
 赤のしを走らふるを以て揚 丁如  
 赤のしを走らふるを以て揚 山室  
 赤のしを走らふるを以て揚 柳斎  
 赤のしを走らふるを以て揚 除力  
 赤のしを走らふるを以て揚 水田  
 赤のしを走らふるを以て揚 見外  
 赤のしを走らふるを以て揚 藝雄

白鳥

昔

赤のしを走らふるを以て揚 藝雄

藤のついでに... 其池  
 ... 雨取  
 ... 自來  
 ... 柳月  
 ... 和雨  
 ... 龍宮  
 ... 花塚  
 ... 流雲  
 ... 松古  
 ... 吉行  
 ... 柳様  
 ... 卦説  
 ... 九世  
 ... 蘭香  
 ... 蘭株

藤のついでに... 其池  
 ... 魚村  
 ... 寺堂  
 ... 其岸  
 ... 花仙  
 ... 為山  
 ... 山分  
 ... 龍鳳  
 ... 草居  
 ... 和江  
 ... 未明  
 ... 草野

野の門のりけふの秋を大 何年  
 葦のあゝささけりしやあゝ一 なる  
 暮やあゝ一斗のちるさきり 一葉  
 暮やあゝ一斗のちるさきり 物室  
 暮やあゝ一斗のちるさきり 正鈴  
 行名あゝ一斗のちるさきり 瓦村  
 行名あゝ一斗のちるさきり 古池  
 中あゝ一斗のちるさきり 堤歩  
 中あゝ一斗のちるさきり 五葉  
 中あゝ一斗のちるさきり 松雨  
 中あゝ一斗のちるさきり 淡節  
 中あゝ一斗のちるさきり 耕字  
 中あゝ一斗のちるさきり 道橋  
 中あゝ一斗のちるさきり 六探  
 中あゝ一斗のちるさきり 柗山  
 中あゝ一斗のちるさきり 内坡

響

響

中あゝ一斗のちるさきり 葦一  
 山あゝ一斗のちるさきり 必山  
 中あゝ一斗のちるさきり 素正  
 中あゝ一斗のちるさきり 昔月  
 中あゝ一斗のちるさきり 双鳥  
 中あゝ一斗のちるさきり 楓の  
 中あゝ一斗のちるさきり 菴山  
 中あゝ一斗のちるさきり 龍山  
 中あゝ一斗のちるさきり 寺嘆  
 中あゝ一斗のちるさきり 泉池  
 中あゝ一斗のちるさきり 香子  
 中あゝ一斗のちるさきり 橋之  
 中あゝ一斗のちるさきり 雲居  
 中あゝ一斗のちるさきり 扇左  
 中あゝ一斗のちるさきり 道橋  
 中あゝ一斗のちるさきり 柗山

馬鳥

馬鳥 九折  
 馬鳥 伯遠

水鳥 水鳥の鳴き声は海鳥の如く  
鳴くは海鳥の如く

鳴くは海鳥の如く  
鳴くは海鳥の如く

鳥鳴

鳴くは海鳥の如く  
鳴くは海鳥の如く

鳴くは海鳥の如く  
鳴くは海鳥の如く

現

岩

鳴くは海鳥の如く  
鳴くは海鳥の如く

食穀と部

海苔

鳴くは海鳥の如く  
鳴くは海鳥の如く

鳴くは海鳥の如く  
鳴くは海鳥の如く

鳴くは海鳥の如く  
鳴くは海鳥の如く

鳴くは海鳥の如く  
鳴くは海鳥の如く

鳴くは海鳥の如く  
鳴くは海鳥の如く

鳴くは海鳥の如く  
鳴くは海鳥の如く

鳴くは海鳥の如く  
鳴くは海鳥の如く

鳴くは海鳥の如く  
鳴くは海鳥の如く

神歌と部

祇園

鳴くは海鳥の如く  
鳴くは海鳥の如く

春節

鳴くは海鳥の如く  
鳴くは海鳥の如く

鳴くは海鳥の如く  
鳴くは海鳥の如く

春之

鳴くは海鳥の如く  
鳴くは海鳥の如く

古志

鳴くは海鳥の如く  
鳴くは海鳥の如く

節のあはれをいふやまやまのあはれし月故  
 今ゆかりのあはれをいふやまのあはれ 第一

二月乾坤く部

如月 泣木屋のあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 月のあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 小氣のあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 まさしくあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 真味とあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 出仕のあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 如月やあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 ね年とあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 言寄 けひのあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 角力とあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 骨折とあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 うけとあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 橋月 うけとあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ

つとあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 あらあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 春のあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 切とあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 水とあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 車とあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 如きとあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 故きとあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 敷白とあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 巾とあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 節とあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 柳とあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 ちとあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 柳とあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 柳とあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 柳とあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ  
 柳とあはれをいふやまのあはれ 二月のあはれ

上

下





おみほろひのこし〜 一具  
わが母は〜 妻  
まをり〜 夫  
の〜 山  
あ〜 一具

植物く部

神光

おみほろひのこし〜 鳥  
わが母は〜 鳥  
まをり〜 鳥  
の〜 鳥  
あ〜 鳥  
お〜 鳥  
わが母は〜 鳥  
まをり〜 鳥  
の〜 鳥  
あ〜 鳥  
お〜 鳥  
わが母は〜 鳥  
まをり〜 鳥  
の〜 鳥  
あ〜 鳥  
お〜 鳥

幼鳥

おみほろひのこし〜 鳥  
わが母は〜 鳥  
まをり〜 鳥  
の〜 鳥  
あ〜 鳥  
お〜 鳥  
わが母は〜 鳥  
まをり〜 鳥  
の〜 鳥  
あ〜 鳥  
お〜 鳥  
わが母は〜 鳥  
まをり〜 鳥  
の〜 鳥  
あ〜 鳥  
お〜 鳥



種有 種まきの種法の一と葉の定 赤山

粟の種も種とあつてあつてのり 廿月

種御 葉の戸七十是のり種御 風歌

種とて水と種と種とあ 友一

葉の種と種とあ 友一

葉の種と種とあ 友一

葉の種と種とあ 友一

葉の種と種とあ 友一

葉の種と種とあ 友一

葉の種と種とあ 友一

葉の種と種とあ 友一

葉の種と種とあ 友一

葉の種と種とあ 友一

椿

樹のうねお影のさけ 物か 性善

樹のうねお影のさけ 物か 性善

樹のうねお影のさけ 物か 性善

樹のうねお影のさけ 物か 性善

樹のうねお影のさけ 物か 性善

樹のうねお影のさけ 物か 性善

樹のうねお影のさけ 物か 性善

樹のうねお影のさけ 物か 性善

樹のうねお影のさけ 物か 性善

樹のうねお影のさけ 物か 性善

樹のうねお影のさけ 物か 性善

樹のうねお影のさけ 物か 性善

樹のうねお影のさけ 物か 性善

筆致さきよきことし梅の 自來  
雪のりふくさぬぬ花の梅ふ 曲年  
空橋のつらふさふさな花のり 雪橋  
おもしろいふくさぬぬ花のり 井古  
おもしろいふくさぬぬ花のり 由吉  
江ふかき梅のりし水の色 橋西  
橋ふふくさぬぬ花のり 海老  
同くおもしろいふくさぬぬ花のり 如松  
おもしろいふくさぬぬ花のり 早土  
おもしろいふくさぬぬ花のり 一松  
梅のりふくさぬぬ花のり 又次  
梅のりふくさぬぬ花のり 女山  
さるふくさぬぬ花のり 蘭雪  
おもしろいふくさぬぬ花のり 与三  
おもしろいふくさぬぬ花のり 鳴々  
おもしろいふくさぬぬ花のり 善金

しきりし中よりや振後の形 松蔭

雉子

陽のりふくさぬぬ花のり 号居  
しきりのりふくさぬぬ花のり 玉夫  
おもしろいふくさぬぬ花のり 十席  
おもしろいふくさぬぬ花のり 善哉  
水さるふくさぬぬ花のり 三海堂  
おもしろいふくさぬぬ花のり う兼  
おもしろいふくさぬぬ花のり 井竹の  
おもしろいふくさぬぬ花のり 龍岡子  
今人の形はぬぬ花のり 鼎花  
おもしろいふくさぬぬ花のり 後五  
おもしろいふくさぬぬ花のり 一具  
雉子おもしろいふくさぬぬ花のり 宗古  
おもしろいふくさぬぬ花のり 月夜  
おもしろいふくさぬぬ花のり 龍由  
おもしろいふくさぬぬ花のり 鼎居

此一也てぬれ尾ふりつるのほし 其山  
 孝のれ果てんけさき 清約  
 智のさるるやき 見外  
 月夜ふあふらふらふら 清成  
 き一のわらわのあふらふら 雪堂  
 孝の果て 一雅  
 経のつらふらふらふら 西門  
 き一のわらわのあふらふら 東塘  
 孝の果て 素成  
 月夜ふあふらふらふら 九起  
 き一のわらわのあふらふら 音月  
 孝の果て 月坡  
 井のつらふらふらふら 如集  
 孝の果て 五言  
 孝の果て 依是  
 孝の果て 金言

孝の果て 映門  
 孝の果て 次月  
 孝の果て 蘭操  
 孝の果て 教舟  
 孝の果て 九如  
 孝の果て 名池  
 孝の果て 名山  
 孝の果て 杜鵑  
 孝の果て 菩提  
 孝の果て 物操  
 孝の果て 半丈  
 孝の果て 未麦  
 孝の果て 孝居  
 孝の果て 孝子  
 孝の果て 孝山  
 孝の果て 孝一









赤坂やまはら 一徳のりうら 成子

聖小畑のりうら 一徳のりうら 多女

まふらのりうら 一徳のりうら 月夜

田原 月原のりうら 一徳のりうら 具丸

ころろおろおろ 一徳のりうら 文木

あふおろおろ 一徳のりうら 巴口

まふおろおろ 一徳のりうら 蘭秀

馬口 ころおろおろ 一徳のりうら 福宮

ころおろおろ 一徳のりうら 井掛

落角 是れおろおろ 一徳のりうら 西馬

まふおろおろ 一徳のりうら 津山

孕妻 お月やお星の中の星 一徳のりうら 一着

あふおろおろ 一徳のりうら 庭敷

まふおろおろ 一徳のりうら 小倉

まふおろおろ 一徳のりうら 早一

神歌一節

印年 印年やお町とおまをさるる 一徳のりうら 一徳

大月やお町のりうら 一徳のりうら 一徳

新徳 まふおろおろ 一徳のりうら 松崎

神の本ふおろおろ 一徳のりうら 具丸

浮世言 まふおろおろ 一徳のりうら 素正

あふおろおろ 一徳のりうら 鴨堂

おのりおろおろ 一徳のりうら 祖口

彼者 まふおろおろ 一徳のりうら 吉次

あふおろおろ 一徳のりうら 吉次

あふおろおろ 一徳のりうら 具丸

三月乾坤一節

珠生 印年やお町とおまをさるる 一徳のりうら 一徳

あふおろおろ 一徳のりうら 一徳

羅 抱えおろおろ 一徳のりうら 具丸

あふおろおろ 一徳のりうら 一徳

能のたふうけて思ふや吉よこれ 吉風  
 おろそ又思ふや吉よこれ 朱相  
 竹とすしこあおふさうし能のあ 古風  
 家こころやふさふさゆき能うゆ 梅什  
 持てあつて能成其のよとす下り 了得  
 持てあつてさふれ能う能うか 梅家  
 能立てたうり二所のきさゆり 氣画  
 能向くもあふさきり能う申 茶雷  
 能ういひ思ふさうし能う申 可嘆  
 能おろ乳母ふつとさき能のあ 孝境  
 系能おれりしれ能うとさき 白鷗  
 能桐やうらうと能うたう二能折 月香  
 能海をひりしれさき能の能 松橋  
 能おのさふあつとさき能の油 如山  
 能ういひる店えさきり能うあ 石龍  
 能什の休む能の能うさき 意鳩

泊干 一里出てさへ入るや泊干うら 鼎友

川尻のよまらふ能うし泊干が 六燈

年あつていふのちさる泊干が 意画

ら能うあふさきさき泊干は 智山

曲水 曲水の生流るるやまのり 梅笠

別霜 梅うすのさきさきさき 梅家

お茶をちのさきさきさき 又賀

めさしきさきさきさきさき 目折と

初如 おねや能うさきさきさき 素史

ち川ねや能うさきさきさき 井竹の

こねねやあつてさきさきさき 新龍

作茶 作茶さきさきさきさきさき 暮島

能うさきさきさきさきさき 深夕

作茶や能うさきさきさき 意鳩

能うさきさきさきさきさき 了得

夏遊き 夏をたふうけるさきさき 景秀

上

景秀

夏夜のしきとて花の影 竹一  
送る花門のふくやま 又安

行春 花の影のしきとて花の影 又安

行春 花の影のしきとて花の影 又安

行春 花の影のしきとて花の影 又安

行春 花の影のしきとて花の影 又安

行春 花の影のしきとて花の影 又安

行春 花の影のしきとて花の影 又安

行春 花の影のしきとて花の影 又安

行春 花の影のしきとて花の影 又安

行春 花の影のしきとて花の影 又安

行春 花の影のしきとて花の影 又安

行春 花の影のしきとて花の影 又安

行春 花の影のしきとて花の影 又安

行春 花の影のしきとて花の影 又安

行春 花の影のしきとて花の影 又安

行春 花の影のしきとて花の影 又安

行春 花の影のしきとて花の影 又安

行春 花の影のしきとて花の影 又安

行春 花の影のしきとて花の影 又安

石残 花の影のしきとて花の影 又安

花の影のしきとて花の影 又安

花の影のしきとて花の影 又安

植物と部

花の影のしきとて花の影 又安

花の影のしきとて花の影 又安

花の影のしきとて花の影 又安

花の影のしきとて花の影 又安

花の影のしきとて花の影 又安

花の影のしきとて花の影 又安

櫻

桜管の枝もみく川舟の心 一桃  
 めいりや音ふよふく心の歌 孝院  
 めいりや音ふよふく心の歌 必亮  
 山嶽ふつに外を眺むる心 お龍  
 木音ふよふく音もや花の心 喜池  
 管の音もみく川舟の心 昂光  
 めいりや音ふよふく心の歌 物價  
 めいりや音ふよふく心の歌 宗古  
 舟入るる音もみく川舟の心 晨又  
 道つた人の心もみく川舟の心 栗山  
 十人ふつに外を眺むる心 北洋  
 川水や舟もみく川舟の心 見外  
 舟入るる音もみく川舟の心 山分  
 人の心もみく川舟の心 一具  
 舟入るる音もみく川舟の心 水嶋

舟入るる音もみく川舟の心 後友  
 めいりや音ふよふく心の歌 由古  
 舟入るる音もみく川舟の心 お仙  
 舟入るる音もみく川舟の心 物園  
 舟入るる音もみく川舟の心 友月  
 舟入るる音もみく川舟の心 初吉  
 舟入るる音もみく川舟の心 雨外  
 舟入るる音もみく川舟の心 縮番  
 舟入るる音もみく川舟の心 玉彦  
 舟入るる音もみく川舟の心 水執  
 舟入るる音もみく川舟の心 寺堂  
 舟入るる音もみく川舟の心 黙池  
 舟入るる音もみく川舟の心 克林  
 舟入るる音もみく川舟の心 文定  
 舟入るる音もみく川舟の心 氣山  
 舟入るる音もみく川舟の心 蘭香

香ふく物りく敷止さるる  
 可吸  
 高くとちあきとこわくは  
 種好  
 あやうも先辨めゆる様  
 瓢箪  
 敷く本のくちあきとちあき  
 習性  
 たりとちあきとちあき  
 白馬  
 おさらとちあきとちあき  
 祇白  
 生茶とちあきとちあき  
 寄選  
 子に抱く様とちあきとちあき  
 雲洞  
 物りくはくはくはくはく  
 三粒  
 鶴大のめけとちあきとちあき  
 杜鴻  
 り様とちあきとちあきとちあき  
 相傳  
 角様とちあきとちあきとちあき  
 物室  
 傍り物りとちあきとちあき  
 巾と白  
 物二おとちあきとちあきとちあき  
 見外  
 此二あきとちあきとちあき  
 第一

酒

花

高くとちあきとちあきとちあき  
 京衣  
 似たりとちあきとちあきとちあき  
 京池  
 故よぬのたつとちあきとちあき  
 麦雨  
 通ぬもはあきとちあきとちあき  
 鷺更  
 雲よりとちあきとちあきとちあき  
 梅室  
 さらけとちあきとちあきとちあき  
 袋  
 おのちとちあきとちあきとちあき  
 一  
 りん様とちあきとちあきとちあき  
 京山  
 おとちあきとちあきとちあき  
 占池  
 水とちあきとちあきとちあき  
 風朗  
 かなとちあきとちあきとちあき  
 京山  
 さらけとちあきとちあきとちあき  
 楽人  
 高くとちあきとちあきとちあき  
 双馬  
 水とちあきとちあきとちあき  
 孝院  
 一高くとちあきとちあきとちあき  
 高衣

ちかお指さるるしつしよ 雪川  
 へんしつしよのしつしよ 性子  
 ちかお指さるるしつしよ 鳴く  
 ちかお指さるるしつしよ 茶坊  
 ちかお指さるるしつしよ 柳面  
 ちかお指さるるしつしよ 赤心  
 ちかお指さるるしつしよ 白鳥  
 ちかお指さるるしつしよ 山外  
 ちかお指さるるしつしよ 雪村  
 ちかお指さるるしつしよ 九起  
 ちかお指さるるしつしよ 雪塔  
 ちかお指さるるしつしよ 魚村  
 ちかお指さるるしつしよ 指家  
 ちかお指さるるしつしよ 月人

ちかお指さるるしつしよ 桃家  
 ちかお指さるるしつしよ 梅什  
 ちかお指さるるしつしよ 物海  
 ちかお指さるるしつしよ 花伝  
 ちかお指さるるしつしよ 文架  
 ちかお指さるるしつしよ 下和  
 ちかお指さるるしつしよ 一具  
 ちかお指さるるしつしよ 由尊  
 ちかお指さるるしつしよ 子子  
 ちかお指さるるしつしよ 弓形  
 ちかお指さるるしつしよ 曲洞  
 ちかお指さるるしつしよ 白鷗  
 ちかお指さるるしつしよ 叶洞  
 ちかお指さるるしつしよ 梅暖  
 ちかお指さるるしつしよ 如柳  
 ちかお指さるるしつしよ 魚魚

石舟  
夢花  
丹花  
玉瓶  
正銘  
茶翁  
水哉  
一吹  
三知  
一那  
大夏  
松什  
美也

海棠

天遊  
一  
松塘  
新原  
正  
卦  
松  
目  
仲  
野  
丸





新武ふより改しきて名のこと 五三門  
 もつるは 敵のたれや名のこと 映門  
 細えしうへうのたれや名のこと 双山  
 着のしるはつるきまのたれや 燕風  
 履ぬきしをさしきやあらはれ花 玄山  
 鹿のふあきくさくさふちれお 兔飼  
 のちしつるおさしきまのたれや 苔舎  
 のちしつるおさしきまのたれや 雲杉  
 旅のたれや門やあらはれとん 鶴島  
 雫のたれしるのちせうやあのお 赤池  
 たりるせんとそのたれやりのたれや 泉池  
 水ありけはんとそのたれやりのたれや 雪丹  
 のちしつるおさしきまのたれや 赤堂  
 のちしつるおさしきまのたれや 枝書  
 のちしつるおさしきまのたれや 柳書  
 のちしつるおさしきまのたれや 墨一

山吹

荳 菊

山吹の下やうれて水 車 踏山  
 山吹やあひふまりとくきくも 鼎太  
 じんきくものたれやを菊が 舟化  
 持ふ年のたれやひけくを菊が 雲龍  
 赤やんれふ知もくをきくやさすり 一三反  
 赤のたれやをきくやあはくさ 西洲  
 赤のたれやをきくやあはくさ 東海  
 行きのたれやをきくやあはくさ 一柳  
 赤のたれやをきくやあはくさ 陸海  
 赤のたれやをきくやあはくさ 赤明  
 赤のたれやをきくやあはくさ 赤明  
 赤のたれやをきくやあはくさ 赤明

鶺鴒

はし類し部

鶺鴒や脚をきくやあはくさ 露珠  
 鶺鴒や脚をきくやあはくさ 杉形  
 鶺鴒や脚をきくやあはくさ 杉形

海 さらけ新ひたきくさなみき 浦島

一木らの海ゆりもや海子き 井竹

鳥 みるみる入るる海風をたつと 松竹

まきまき入るる海風をたつと 法華

音能 教の海風をたつと 素直

徳正能のちとていふるをう能 西崎

つらつらとていふるをう能 角島

清うらやとていふるをう能 岸一

波のうらやとていふるをう能 風月

うらやとていふるをう能 島長

蟹 玉れと風とていふるをう能 素直

波のうらやとていふるをう能 岸一

海の類と部

鳥 踏む海風をたつと 鵬島

踏むのちとていふるをう能 松海

刺 時々の海風をたつと 風歌

波のうらやとていふるをう能 島長

神教と部

鳥 名の海風をたつと 文景

とていふるをう能 島長

とていふるをう能 島長

人 海風をたつと 島長

島長のちとていふるをう能 島長

鳥 海風をたつと 島長

海類と部

海風をたつと 島長

海風をたつと 島長

海風をたつと 島長

海風をたつと 島長

上

鳥



短夜

うらおや田のりつる短夜少海 素直  
 三つおや心もきくは時つる 喜池  
 六つおよふ時おと月を馬ふ 文山  
 終おや一歩ふつこ山の 山外  
 終おや初りつる竹の月 普功  
 幾おや世にさくの伴明く 石未  
 一つおのふ心もさくややりの 習作  
 うらおのふ心もさくややりの 亦然  
 一歩の雨のうらおよふまの 蘭陵  
 幾おや初りつる竹の月 一孝一  
 終およ初りつる竹の月 必山  
 六つおよ初りつる竹の月 為山  
 三つおよ初りつる竹の月 雅吾  
 月をさく時つる竹の月 鼎友  
 八つおよ初りつる竹の月 素玉  
 終およ初りつる竹の月 西馬

大失数

附

大失数とてまのりつる竹の月 一孝一  
 三つおよ初りつる竹の月 為山  
 月をさく時つる竹の月 鼎友  
 終およ初りつる竹の月 西馬  
 六つおよ初りつる竹の月 雅吾  
 三つおよ初りつる竹の月 必山  
 一歩の雨のうらおよふまの 蘭陵  
 うらおのふ心もさくややりの 亦然  
 一つおのふ心もさくややりの 習作  
 石未  
 普功  
 山外  
 文山  
 喜池  
 素直

汗

汗

汗のうらおのふ心もさくややりの 習作  
 汗のうらおのふ心もさくややりの 亦然  
 汗のうらおのふ心もさくややりの 蘭陵  
 汗のうらおのふ心もさくややりの 一孝一  
 汗のうらおのふ心もさくややりの 必山  
 汗のうらおのふ心もさくややりの 雅吾  
 汗のうらおのふ心もさくややりの 鼎友  
 汗のうらおのふ心もさくややりの 西馬



一巻のけい巻ふすけの牡丹が 探玉  
 ありてさうせんか敷りてんが 又山  
 葉の思ひてんや牡丹のあけ物 糸五  
 葉の思ひてんあけ物あけ物 梅竹  
 花さても思ひてんあけ物あけ物 菊如  
 花さても思ひてんあけ物あけ物 如海  
 花さても思ひてんあけ物あけ物 翠一  
 花さても思ひてんあけ物あけ物 一桃  
 花さても思ひてんあけ物あけ物 喜池  
 花さても思ひてんあけ物あけ物 松海  
 花さても思ひてんあけ物あけ物 寺院  
 花さても思ひてんあけ物あけ物 寺指  
 花さても思ひてんあけ物あけ物 桃室  
 花さても思ひてんあけ物あけ物 圓中  
 花さても思ひてんあけ物あけ物 揚子  
 花さても思ひてんあけ物あけ物 高砂

巻

巻

巻のけい巻ふすけの牡丹が 松海  
 ありてさうせんか敷りてんが 虚白  
 葉の思ひてんや牡丹のあけ物 量枝  
 葉の思ひてんあけ物あけ物 梅通  
 花さても思ひてんあけ物あけ物 抱像  
 花さても思ひてんあけ物あけ物  
 花さても思ひてんあけ物あけ物 三巻  
 花さても思ひてんあけ物あけ物 一桃  
 花さても思ひてんあけ物あけ物 樊舟  
 花さても思ひてんあけ物あけ物 湯水  
 花さても思ひてんあけ物あけ物 翠一  
 花さても思ひてんあけ物あけ物 比松  
 花さても思ひてんあけ物あけ物 又探  
 花さても思ひてんあけ物あけ物 雨竹  
 花さても思ひてんあけ物あけ物 又突  
 花さても思ひてんあけ物あけ物 翠一













枝の影のまはるか袖のけり 枝人  
この子の乳のまはるか袖のけり 空鶴  
まはるか袖のまはるか袖のけり 風葉  
まはるか袖のまはるか袖のけり 陰五  
活きの水くまはるか袖のけり 月下  
くまはるか袖のまはるか袖のけり 学居  
改ゆるか袖のまはるか袖のけり 木梅  
まはるか袖のまはるか袖のけり や然  
まはるか袖のまはるか袖のけり 一桃  
まはるか袖のまはるか袖のけり 梨葉  
まはるか袖のまはるか袖のけり 貝外  
まはるか袖のまはるか袖のけり 抱傷  
まはるか袖のまはるか袖のけり 月盡  
まはるか袖のまはるか袖のけり 以風  
まはるか袖のまはるか袖のけり 古風  
まはるか袖のまはるか袖のけり 六峰

筆

けの子の筆のまはるか袖のけり 月波  
筆のまはるか袖のまはるか袖のけり 光山  
筆のまはるか袖のまはるか袖のけり 苔枯  
筆のまはるか袖のまはるか袖のけり 尺丹  
筆のまはるか袖のまはるか袖のけり 昇衣  
筆のまはるか袖のまはるか袖のけり 石衣  
筆のまはるか袖のまはるか袖のけり 碓洋  
筆のまはるか袖のまはるか袖のけり 昇衣  
筆のまはるか袖のまはるか袖のけり 赤絲  
筆のまはるか袖のまはるか袖のけり 杜鰲  
筆のまはるか袖のまはるか袖のけり 心衣  
筆のまはるか袖のまはるか袖のけり 長固  
筆のまはるか袖のまはるか袖のけり 物衣  
筆のまはるか袖のまはるか袖のけり 筆一  
筆のまはるか袖のまはるか袖のけり 荷涼

夏

縁

かひと伝はせり—まま木立 杜若

生類し部

熟る 熟るはあやあまのほろろたる 梅室  
 可成るやまをたのむ子規 鳥屋  
 守るはあまのあつたのほろろ 鳥あ  
 梅の葉の敷もまわりの熟る 去る  
 杜若たたくちをまわりの中 徳海  
 ちんちんあひひつらまをる 五輪  
 けいふふまふらまふらま 柳下  
 けいふふまふらまふらま 女宮  
 けいふふまふらまふらま 悠々  
 けいふふまふらまふらま 杉林  
 けいふふまふらまふらま 美野  
 けいふふまふらまふらま 久安  
 けいふふまふらまふらま 井竹め  
 けいふふまふらまふらま 清風

きのこはあまのほろろたる 梅室  
 可成るやまをたのむ子規 鳥屋  
 守るはあまのあつたのほろろ 鳥あ  
 梅の葉の敷もまわりの熟る 去る  
 杜若たたくちをまわりの中 徳海  
 ちんちんあひひつらまをる 五輪  
 けいふふまふらまふらま 柳下  
 けいふふまふらまふらま 女宮  
 けいふふまふらまふらま 悠々  
 けいふふまふらまふらま 杉林  
 けいふふまふらまふらま 美野  
 けいふふまふらまふらま 久安  
 けいふふまふらまふらま 井竹め  
 けいふふまふらまふらま 清風

雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 平山  
月の光をくもりて空をくもりてやほのぼのす 風河  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 柳春  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 丑並  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 江月  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 破石  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 鹿角  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 申年  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 流芳  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 清子  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 卦数  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 由之  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 冬園  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 杜鰲  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 鳥所  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 性学

閑歌  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 平山  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 白起  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 道橋  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 女山  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 半月  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 蘭陵  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 由太  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 第一  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 三葉  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 辰光  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 盛年  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 丑年  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 流芳  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 半島  
雲をくもりて空をくもりてやほのぼのす 伯遠









故柱

しんせいの故木柱をいひぬ敷の門 物産  
故木柱のぬきおきしは 糖の身木柱 宗古  
しんせいの故木柱をいひぬ敷の門 物産  
故木柱のぬきおきしは 糖の身木柱 宗古  
しんせいの故木柱をいひぬ敷の門 物産  
故木柱のぬきおきしは 糖の身木柱 宗古

蚕

故木柱のぬきおきしは 糖の身木柱 宗古  
故木柱のぬきおきしは 糖の身木柱 宗古  
故木柱のぬきおきしは 糖の身木柱 宗古  
故木柱のぬきおきしは 糖の身木柱 宗古

水馬

しんせいの故木柱をいひぬ敷の門 物産  
故木柱のぬきおきしは 糖の身木柱 宗古  
しんせいの故木柱をいひぬ敷の門 物産  
故木柱のぬきおきしは 糖の身木柱 宗古

子又

しんせいの故木柱をいひぬ敷の門 物産  
故木柱のぬきおきしは 糖の身木柱 宗古  
しんせいの故木柱をいひぬ敷の門 物産  
故木柱のぬきおきしは 糖の身木柱 宗古

Handwritten marginal notes or bleed-through on the left edge of the page.

青雲

青雲の巻より山月の月 添く  
 其後の巻より川の橋 笠下  
 其後やわのやうな寺の秋 月下  
 其後のついでにや河の行と 秋空  
 其後やわのふぬれを指す 山風  
 其後や情をけりてあり 風象  
 成らぬありては知れぬの影 扇衣  
 其後やわのこゝろ 溜り川 後意  
 其後や情をけりてありてあり 平山  
 其後やわのこゝろ 溜り川 平山  
 其後や情をけりてありてあり 平山  
 其後やわのこゝろ 溜り川 平山

鶴

五鶴

鳥中

五鶴の巻より山月の月 添く  
 其後の巻より川の橋 笠下  
 其後やわのやうな寺の秋 月下  
 其後のついでにや河の行と 秋空  
 其後やわのふぬれを指す 山風  
 其後や情をけりてありてあり 風象  
 成らぬありては知れぬの影 扇衣  
 其後やわのこゝろ 溜り川 後意  
 其後や情をけりてありてあり 平山  
 其後やわのこゝろ 溜り川 平山  
 其後や情をけりてありてあり 平山  
 其後やわのこゝろ 溜り川 平山

更志

更志の巻より山月の月 添く  
 其後の巻より川の橋 笠下  
 其後やわのやうな寺の秋 月下  
 其後のついでにや河の行と 秋空  
 其後やわのふぬれを指す 山風  
 其後や情をけりてありてあり 風象  
 成らぬありては知れぬの影 扇衣  
 其後やわのこゝろ 溜り川 後意  
 其後や情をけりてありてあり 平山  
 其後やわのこゝろ 溜り川 平山  
 其後や情をけりてありてあり 平山  
 其後やわのこゝろ 溜り川 平山

止

年











植るぬらぬら田不第の庭に 抱像  
田植あしらふるさきの菊あふ 田太  
植けし世もさきさきつゆの世に 鳥丸  
さきさきし世のやまの九折

早乙女

早乙女のあはれさきさきの月 小笠原  
早乙女おあはれさきさきの月 小澤  
夜も早乙女斗兼ふりり 柳竹  
早乙女や世のおまはれさきさきの月 流石  
あけや世のさきさきさきさき 植乙女 月波  
あけのさきさきのさきさきさき 三  
さきさきさきさきさきさき 双鳥

早苗

早苗さきさきのさきさきさき 翠一  
早苗さきさきのさきさきさき 翠一  
早苗さきさきのさきさきさき 翠一

藤

藤のさきさきのさきさきさき 志林  
藤のさきさきのさきさきさき 志林  
藤のさきさきのさきさきさき 志林

藤

藤のさきさきのさきさきさき 志林  
藤のさきさきのさきさきさき 志林  
藤のさきさきのさきさきさき 志林

花

花のさきさきのさきさきさき 志林  
花のさきさきのさきさきさき 志林  
花のさきさきのさきさきさき 志林

花

花のさきさきのさきさきさき 志林  
花のさきさきのさきさきさき 志林  
花のさきさきのさきさきさき 志林

紅花

紅花のさきさきのさきさきさき 志林  
紅花のさきさきのさきさきさき 志林  
紅花のさきさきのさきさきさき 志林

止

止

此篇

何れも花枝のたのびにし 玉露  
 若陽のふらふらもはるの中 素行  
 昔陽のさかすかにさぬ花交 子宮  
 何れも花のさかすかにさぬ花 波同  
 あらも花のめめめめめめめめ 元本  
 何れも花のさかすかにさぬ花 悠々  
 何れも花のさかすかにさぬ花 雅集  
 又も花のさかすかにさぬ花 石采  
 何れも花のさかすかにさぬ花 月下  
 何れも花のさかすかにさぬ花 素花  
 何れも花のさかすかにさぬ花 柳古  
 何れも花のさかすかにさぬ花 昇天  
 何れも花のさかすかにさぬ花 宗古  
 何れも花のさかすかにさぬ花 玉露

百合

菊花

何れも花のさかすかにさぬ花 後石  
 何れも花のさかすかにさぬ花 ねぼ  
 何れも花のさかすかにさぬ花 鳥取  
 何れも花のさかすかにさぬ花 象ね  
 何れも花のさかすかにさぬ花 九葉  
 何れも花のさかすかにさぬ花 一甫  
 何れも花のさかすかにさぬ花 小梅  
 何れも花のさかすかにさぬ花 梅園  
 何れも花のさかすかにさぬ花 雨華  
 何れも花のさかすかにさぬ花 文珀  
 何れも花のさかすかにさぬ花 柳下  
 何れも花のさかすかにさぬ花 秋唯  
 何れも花のさかすかにさぬ花 ふ二一  
 何れも花のさかすかにさぬ花 蘭標  
 何れも花のさかすかにさぬ花 和風  
 何れも花のさかすかにさぬ花 芥舎

台歌

梅子の枝をみればやあけぬは 豊茂

台歌の心はあはれなる御心

あやかしやうへもや梅子の枝 一紀

上ノ山も敷くうへもや台歌の心 杜有

言部歌や汝をこそけりける故 有縁

梅の心は梅をこそけりける故 有縁

香歌

梅の花は香をこそけりける故 有縁

梅の花は香をこそけりける故 有縁

梅の花は香をこそけりける故 有縁

梅の花は香をこそけりける故 有縁

梅

梅の花は香をこそけりける故 有縁

梅の花は香をこそけりける故 有縁

梅の花は香をこそけりける故 有縁

梅の花は香をこそけりける故 有縁

香梅

梅の花は香をこそけりける故 有縁

梅の花は香をこそけりける故 有縁

香梅

梅の花は香をこそけりける故 有縁

梅の花は香をこそけりける故 有縁

梅の花は香をこそけりける故 有縁

瓜の花

梅の花は香をこそけりける故 有縁

梅の花は香をこそけりける故 有縁

梅の花は香をこそけりける故 有縁

梅の花は香をこそけりける故 有縁

梅の花は香をこそけりける故 有縁

梅の花は香をこそけりける故 有縁

瓜

梅の花は香をこそけりける故 有縁

梅の花は香をこそけりける故 有縁

梅の花は香をこそけりける故 有縁

法度

月下

梅子

梅子

梅子

梅子

梅子

梅子

梅子

梅子

梅子

梅子

梅子

梅子

梅子



浮家

舟のそとにゐる人もや

鳥也

舟のそとにゐる人もや

言子

舟のそとにゐる人もや

舟也

舟のそとにゐる人もや

舟也

水鷗

水鷗のそとにゐる人もや

舟也

水鷗のそとにゐる人もや

舟也

水鷗のそとにゐる人もや

舟也

水鷗のそとにゐる人もや

舟也

水鷗のそとにゐる人もや

舟也

水鷗のそとにゐる人もや

舟也

水鷗のそとにゐる人もや

舟也

水鷗のそとにゐる人もや

舟也

水鷗のそとにゐる人もや

舟也

水鷗のそとにゐる人もや

舟也

水鷗のそとにゐる人もや

舟也

水鷗のそとにゐる人もや

舟也

水鷗のそとにゐる人もや

舟也

女子

人のそとにゐる人もや

舟也

人のそとにゐる人もや

舟也

人のそとにゐる人もや

舟也

人のそとにゐる人もや

舟也

人のそとにゐる人もや

舟也

人のそとにゐる人もや

舟也

押入のきぬをりしそとにゐる舟  
仕修

舟のそとにゐる人もや  
舟也

舟のそとにゐる人もや  
舟也

舟のそとにゐる人もや  
舟也

舟のそとにゐる人もや  
舟也

舟のそとにゐる人もや  
舟也

舟のそとにゐる人もや  
舟也

舟のそとにゐる人もや  
舟也

舟のそとにゐる人もや  
舟也

舟のそとにゐる人もや  
舟也

舟のそとにゐる人もや  
舟也

舟のそとにゐる人もや  
舟也

舟のそとにゐる人もや  
舟也

舟のそとにゐる人もや  
舟也

舟のそとにゐる人もや  
舟也

舟のそとにゐる人もや  
舟也

舟のそとにゐる人もや  
舟也



夏の初めやあちのあちの風 麦作

六月乾坤一節

水月

六月の夜を眺むるや三日月の如く

六月もまたあふも一ふにのみ 耕を

六月や夏の始り一 秋 結 秋を

暑

いよつと暑きては川に魚もか 暑を

と一いつと暑きては川に魚もか 暑を

秋の初めは暑き一 秋 結 秋を

秋の初めは暑き一 秋 結 秋を

秋の初めは暑き一 秋 結 秋を

秋の初めは暑き一 秋 結 秋を

秋の初めは暑き一 秋 結 秋を

秋の初めは暑き一 秋 結 秋を

秋の初めは暑き一 秋 結 秋を

秋の初めは暑き一 秋 結 秋を

秋の初めは暑き一 秋 結 秋を

晴天

晴天の初めは暑き一 秋 結 秋を

風意

風意の初めは暑き一 秋 結 秋を

風意の初めは暑き一 秋 結 秋を

風意の初めは暑き一 秋 結 秋を

風意の初めは暑き一 秋 結 秋を

風意の初めは暑き一 秋 結 秋を

風意の初めは暑き一 秋 結 秋を

風意の初めは暑き一 秋 結 秋を

風意の初めは暑き一 秋 結 秋を

風意の初めは暑き一 秋 結 秋を

風意の初めは暑き一 秋 結 秋を

風意の初めは暑き一 秋 結 秋を

風意の初めは暑き一 秋 結 秋を

風意の初めは暑き一 秋 結 秋を

納涼

納涼の初めは暑き一 秋 結 秋を

納涼の初めは暑き一 秋 結 秋を

一 松竹梅  
 二 梅竹松  
 三 竹松梅  
 四 松梅竹  
 五 梅松竹  
 六 竹梅松  
 七 松竹梅  
 八 梅竹松  
 九 竹松梅  
 十 松梅竹  
 十一 梅松竹  
 十二 竹梅松  
 十三 松竹梅  
 十四 梅竹松  
 十五 竹松梅  
 十六 松梅竹  
 十七 梅松竹  
 十八 竹梅松  
 十九 松竹梅  
 二十 梅竹松  
 二十一 竹松梅  
 二十二 松梅竹  
 二十三 梅松竹  
 二十四 竹梅松  
 二十五 松竹梅  
 二十六 梅竹松  
 二十七 竹松梅  
 二十八 松梅竹  
 二十九 梅松竹  
 三十 竹梅松  
 三十一 松竹梅  
 三十二 梅竹松  
 三十三 竹松梅  
 三十四 松梅竹  
 三十五 梅松竹  
 三十六 竹梅松  
 三十七 松竹梅  
 三十八 梅竹松  
 三十九 竹松梅  
 四十 松梅竹  
 四十一 梅松竹  
 四十二 竹梅松  
 四十三 松竹梅  
 四十四 梅竹松  
 四十五 竹松梅  
 四十六 松梅竹  
 四十七 梅松竹  
 四十八 竹梅松  
 四十九 松竹梅  
 五十 梅竹松  
 五十一 竹松梅  
 五十二 松梅竹  
 五十三 梅松竹  
 五十四 竹梅松  
 五十五 松竹梅  
 五十六 梅竹松  
 五十七 竹松梅  
 五十八 松梅竹  
 五十九 梅松竹  
 六十 竹梅松  
 六十一 松竹梅  
 六十二 梅竹松  
 六十三 竹松梅  
 六十四 松梅竹  
 六十五 梅松竹  
 六十六 竹梅松  
 六十七 松竹梅  
 六十八 梅竹松  
 六十九 竹松梅  
 七十 松梅竹  
 七十一 梅松竹  
 七十二 竹梅松  
 七十三 松竹梅  
 七十四 梅竹松  
 七十五 竹松梅  
 七十六 松梅竹  
 七十七 梅松竹  
 七十八 竹梅松  
 七十九 松竹梅  
 八十 梅竹松  
 八十一 竹松梅  
 八十二 松梅竹  
 八十三 梅松竹  
 八十四 竹梅松  
 八十五 松竹梅  
 八十六 梅竹松  
 八十七 竹松梅  
 八十八 松梅竹  
 八十九 梅松竹  
 九十 竹梅松  
 九十一 松竹梅  
 九十二 梅竹松  
 九十三 竹松梅  
 九十四 松梅竹  
 九十五 梅松竹  
 九十六 竹梅松  
 九十七 松竹梅  
 九十八 梅竹松  
 九十九 竹松梅  
 一百 松梅竹

夏月

一 松竹梅  
 二 梅竹松  
 三 竹松梅  
 四 松梅竹  
 五 梅松竹  
 六 竹梅松  
 七 松竹梅  
 八 梅竹松  
 九 竹松梅  
 十 松梅竹  
 十一 梅松竹  
 十二 竹梅松  
 十三 松竹梅  
 十四 梅竹松  
 十五 竹松梅  
 十六 松梅竹  
 十七 梅松竹  
 十八 竹梅松  
 十九 松竹梅  
 二十 梅竹松  
 二十一 竹松梅  
 二十二 松梅竹  
 二十三 梅松竹  
 二十四 竹梅松  
 二十五 松竹梅  
 二十六 梅竹松  
 二十七 竹松梅  
 二十八 松梅竹  
 二十九 梅松竹  
 三十 竹梅松  
 三十一 松竹梅  
 三十二 梅竹松  
 三十三 竹松梅  
 三十四 松梅竹  
 三十五 梅松竹  
 三十六 竹梅松  
 三十七 松竹梅  
 三十八 梅竹松  
 三十九 竹松梅  
 四十 松梅竹  
 四十一 梅松竹  
 四十二 竹梅松  
 四十三 松竹梅  
 四十四 梅竹松  
 四十五 竹松梅  
 四十六 松梅竹  
 四十七 梅松竹  
 四十八 竹梅松  
 四十九 松竹梅  
 五十 梅竹松  
 五十一 竹松梅  
 五十二 松梅竹  
 五十三 梅松竹  
 五十四 竹梅松  
 五十五 松竹梅  
 五十六 梅竹松  
 五十七 竹松梅  
 五十八 松梅竹  
 五十九 梅松竹  
 六十 竹梅松  
 六十一 松竹梅  
 六十二 梅竹松  
 六十三 竹松梅  
 六十四 松梅竹  
 六十五 梅松竹  
 六十六 竹梅松  
 六十七 松竹梅  
 六十八 梅竹松  
 六十九 竹松梅  
 七十 松梅竹  
 七十一 梅松竹  
 七十二 竹梅松  
 七十三 松竹梅  
 七十四 梅竹松  
 七十五 竹松梅  
 七十六 松梅竹  
 七十七 梅松竹  
 七十八 竹梅松  
 七十九 松竹梅  
 八十 梅竹松  
 八十一 竹松梅  
 八十二 松梅竹  
 八十三 梅松竹  
 八十四 竹梅松  
 八十五 松竹梅  
 八十六 梅竹松  
 八十七 竹松梅  
 八十八 松梅竹  
 八十九 梅松竹  
 九十 竹梅松  
 九十一 松竹梅  
 九十二 梅竹松  
 九十三 竹松梅  
 九十四 松梅竹  
 九十五 梅松竹  
 九十六 竹梅松  
 九十七 松竹梅  
 九十八 梅竹松  
 九十九 竹松梅  
 一百 松梅竹



垣根をめぐりて... 月... 又... 松

青葉... 池... 下... 松

其の... 大... 松

岩... 松

山... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

夕三

夕三... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

... 松

泉

道原とすうけゆるあひて

景棟

文琴

清水

かろはるゝあひて

景友

あひて

景法

あひて

景用

あひて

景量

あひて

景文

あひて

景智

あひて

景正

あひて

景友

あひて

景良

あひて

景通

あひて

景海

あひて

景中

あひて

景本

山田中はるあひて

景地

あひて

景一

あひて

景平

あひて

景月

あひて

景一

お用干

あひて

景九

あひて

景成

あひて

景あ

お用干

あひて

景中

お用干

あひて

景子

お用干

あひて

景子

お用干

あひて

景子

お用干

あひて

景一

お用干

あひて

景成

お用干

あひて

景成

くわあわーつさくしん人 島々  
きんぎょんくわんしん人 保子  
くわあわんしん人 定忠

夏渡

夏渡やまのくわんしん人 定忠  
夏渡やまのくわんしん人 定忠

秋游

秋游やまのくわんしん人 定忠  
秋游やまのくわんしん人 定忠

秋遊

秋遊やまのくわんしん人 定忠  
秋遊やまのくわんしん人 定忠

恒也

秋遊

秋遊やまのくわんしん人 定忠  
秋遊やまのくわんしん人 定忠

連

連やまのくわんしん人 定忠  
連やまのくわんしん人 定忠

傳のくわんしん人 定忠

傳のくわんしん人 定忠

傳のくわんしん人 定忠

傳のくわんしん人 定忠

傳のくわんしん人 定忠

傳のくわんしん人 定忠

傳のくわんしん人 定忠

傳のくわんしん人 定忠

傳のくわんしん人 定忠

傳のくわんしん人 定忠

傳のくわんしん人 定忠

傳のくわんしん人 定忠

傳のくわんしん人 定忠

夕顔

夕顔やまのくわんしん人 定忠  
夕顔やまのくわんしん人 定忠



世類一節

神

山の多岐にわたる多岐神を  
普の類ありしと云ふ神の在  
普の類ありしと云ふ神の在

水

水は山を流るるもまた水は  
山を流るるもまた水は  
山を流るるもまた水は

海

海の深き所は舟の通らぬ  
海の深き所は舟の通らぬ  
海の深き所は舟の通らぬ

草

草は山を覆ふもまた草は  
草は山を覆ふもまた草は  
草は山を覆ふもまた草は

心

心は人の心なりしと云ふ  
心は人の心なりしと云ふ  
心は人の心なりしと云ふ

心太

心太は人の心なりしと云ふ  
心太は人の心なりしと云ふ  
心太は人の心なりしと云ふ

神

神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ

神

神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ

神

神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ

神

神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ

神

神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ

神

神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ

神

神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ

神

神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ

神

神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ

神

神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ

神

神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ

神

神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ  
神は人の心なりしと云ふ

ちりちりせいのまのたの山 風潮

雜三節

あまのついでにさかすまのふりふり  
あまのついでにさかすまのふりふり  
あまのついでにさかすまのふりふり  
あまのついでにさかすまのふりふり  
あまのついでにさかすまのふりふり  
あまのついでにさかすまのふりふり  
あまのついでにさかすまのふりふり  
あまのついでにさかすまのふりふり  
あまのついでにさかすまのふりふり  
あまのついでにさかすまのふりふり

走林 笠岡 乙夜 抱像 香中 惠雨 古鏡 長生

